

地域の獣医師との連携に関する開かれた学校づくり

谷村 建夫

はじめに

佐野市では、1999年に栃木県教育委員会の指定を受けて以来、栃木県獣医師会並びに同佐野支部（旧安佐支部）の獣医師の先生方の御支援と御指導をいただきながら、「地域の獣医師との連携に関する開かれた学校づくり」の研究を推進している。ここにその概要を紹介したい。

1 研究のねらい

- (1) 地域の獣医師との連携を図りながら、学校の小動物の飼育に関する学習環境の充実や飼育環境の改善を図り、児童に生きる力をはぐくむ。
- (2) 学校で飼育している小動物との触れ合いを通して、小動物の生態や正しい飼育方法などを学ばせるとともに、生命を尊重する心と、動物を愛護する態度を育てる。

2 研究経過及び内容等

(1) 1999年度～2001年度

栃木県教育委員会の指定を受けて、「地域の獣医師との連携に関する開かれた学校づくり」の研究に3年間取り組んだ。

- ・研究推進委員会の開催
- ・獣医師先生による飼育舎の巡回と指導
- ・1年生活科「活動名 ウサギさんとなかよしになろう」の授業実施と授業研究(1999年度, 2000年度, 2001年度)
- ・4年生理科「題目 生き物のくらしの変化」の授業実施と授業研究(2000年度)
- ・6年生理科「題目 ヒトや動物の体の特ちょう」の授業実施と授業研究(2001年度)を、主な研究内容とした他、各学校の依頼により適宜施術及び指導を実施していただいた。

(2) 2002年度～

栃木県教育委員会指定の研究は終えたが、佐野市と栃木県獣医師会で独自に委託契約を結び、本研究を継続実施している。

引き続き1年生活科「活動名 ウサギさんとなかよしになろう」の授業実施の他、各学校の依頼により適宜飼育舎の巡回、施術及び指導を実施していただいている。

※1年生活科「活動名 ウサギさんとなかよしになろう」の授業の流れは右上のとおりである。

○1年生生活科

「活動名 ウサギさんとなかよしになろう」 1年生活科学習指導案

○本時の指導

- ・題目 ウサギさんとなかよしになろう(1/1)
- ・目標 ウサギに触れたい心音を聞いたりすることにより、ウサギにも自分たちと同じように命があることに気付くことができる。

・展開

| 児童の活動 | 時間 | 担任の支援 | 獣医師の支援 | 資料・準備 |
|---|-----|--|--|--|
| 1 本時のめあてを確認する。 ウサギさんとなかよしになろう。 | 5分 | ・授業開始前に手を洗わせておく。 ・獣医師の先生と授業を進めることを告げ、紹介をする。 ・本時の目標を確認し、活動への意欲付けを図る。 | ・獣医師の仕事について簡単に説明する。 | |
| 2 ウサギの特徴を知る。 ・耳の形 ・目の色 ・体毛 ・体のつくりや特徴 | | ・ウサギの特徴について話を聞くことを告げる。 | ・ウサギやぬいぐるみ、絵などを用いて、人間との違いから、ウサギの特徴について説明する。 | ウサギ ぬいぐるみ 絵 (獣医師会) |
| 3 ウサギと触れ合う。 ・よく見る ・触る ・抱く ・自分の心音と比べながら、ウサギの心音を聞く。 | 30分 | ・ウサギと触れ合うことを告げる。 ・児童を5グループに分ける。(事前にグループを構成し、スムーズに活動に移行できるようにする。) ・触れ合い活動を補助する。 | ・ウサギの抱き方を話す。 ・聴診器の使い方を話す。 ・用意してきたウサギを各グループに分ける。 ・聴診器で心音を聞かせたり、観察活動に対し助言する。 ・触れ合いながら、児童に問いかけたり、質問に答えたりする。 | ウサギ 聴診器 (学校・獣医師会) 心音計 (獣医師会) |
| 4 分かったことや疑問に思うことを発表し、獣医師の話を聞く。 | 10分 | ・触れ合いを通して分かったことや、疑問に思ったことを発表させる。(児童に事前に質問を考えさせておく。) ・獣医師の話を聞くことを告げる。 ・小動物を大切にしようという気持ちをもたせ、まとめをする。 | ・児童から出された質問に答える。 ・飼育方法やその他補足することを話す。 ・小動物も自分たちと同じ命をもっていることに気付かせ、大切にしようという気持ちをもたせる。 ・活動終了後、手を洗わせる。 | |

3 研究の成果と課題

(1) 成果

- ・小動物の飼育に関する学習環境が整い、飼育環境の改善が図られてきた。
- ・児童に自分より弱いものを大切にし、守ろうという態度が見られるようになった。
- ・獣医師会の先生に小動物の飼育等について相談できる体制ができた。

(2) 課題

- ・学年1学級ずつ授業を実施したが、実施学級を拡大できないだろうか。
- ・自校で飼育している小動物とできるだけ触れ合う活動が必要ではないか。

おわりに

獣医師先生の御厚意により、本事業は7年目を迎え、学校と獣医師先生の連携は強くなってきている。2月に旧田沼町・葛生町と合併して学校数が増え、獣医師先生の御負担は大きくなったが、引き続き本研究を継続させていただきたい。

(佐野市教育委員会学校教育課指導主事)